

# 農業WG参加企業の事業と関連性の高い領域



社会基盤整備 (エネルギー・通信・水)

エネルギー×「通信×EV・EB×ポンプetc.」：  
インフラ余剰電力の活用



# 本邦企業との想定される連携形態

基盤構築者側



**AGROPONTO**  
農業資機材・農作物  
売買マッチング機能

2020年6月モニター調査開始  
@モザンビーク



2: Sell Product  
venda de produtos da primeira  
necessidade  
Grupo: Martinho Aliantr  
Pharane

3: piripiri  
Grupo: Jeremias Rochequ  
1-de Maio  
10mts a cada lugar



**NFC (近距離無線通信)**  
による電子決済機能

モザンビークにて運用済み



## 基礎技術 提供企業



農民の与信データ収集機能  
(土地所有データ・栽培作物  
データなど)



生体認証機能  
(NFC決済登録・  
紛失時に活用)



貸付・返済管理機能  
(NFC決済との連携)

## 基盤強化技術 提供企業



天候データ提供機能



ロジスティクスマッチング機能



営農指導機能  
(本邦農業資機材広告  
の場も兼ねる)



病害虫診断機能

基盤  
利用者側

## 農業資機材 売り手企業



種子・育苗ポット



長靴・剪定鋏



作物用コンテナ



ビニールハウス



灌漑用ポンプ・灌水チューブ



温湿度計



農機

## 融資・サービス 提供企業



## 農作物 買い手企業



デジタル  
インフラ整備

エネルギー×「通信×EV・  
EB×ポンプetc.」：  
インフラ余剰電力の活用



※供与した  
もしくは個人  
のスマートフォンに  
Agropon  
toをイン  
ストール



想定端末保有者※



約40人



約50人



約120人



約520人



約800人

想定エンドユーザー数

約80人

約500人

約3,000人

約10,000人

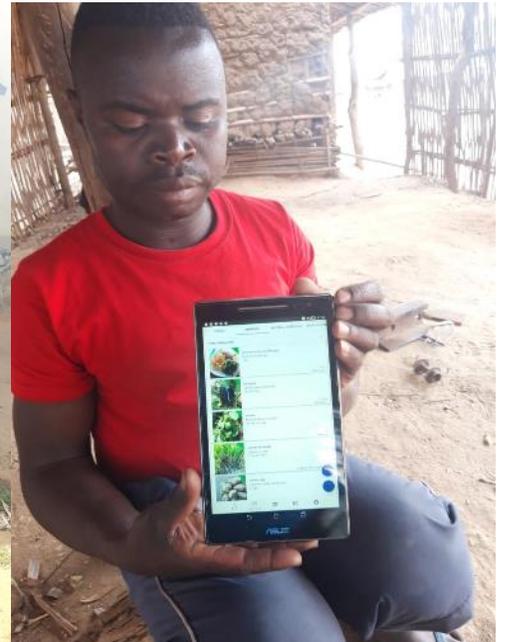
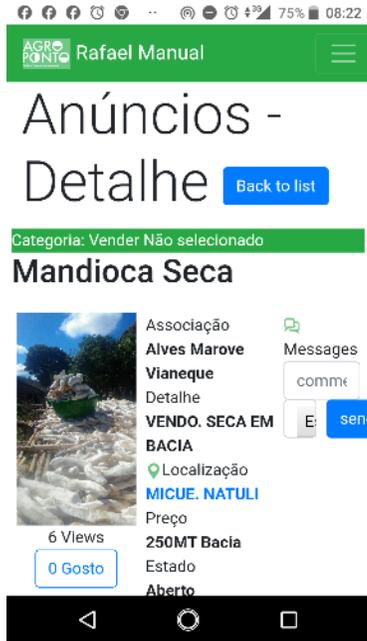
約20,000人

AIPAの普及により所得の向上・融資へのアクセスの促進・農家の組織化が見込まれ投資余力が増加していくことを想定。

## 2. 經過報告

# デジタル化基盤

モニター利用中 (11月⇒2月)  
モザンビーク 北部70人⇒100名 南部155人⇒250名  
セネガル 19人⇒120名



# モザンビーク 北部

- 2020年4月からモニター活動開始
- モニター数100名

## 取引例

- トマトや蜂蜜の売買
- 少額貸付

WFPとは2021年12月にPIA合意  
400農家グループの登録準備



# モザンビーク 南部

- 2021年7月からモニター活動開始
- モニター数250名
- 80件の取引が成立(2022年1月末時点)

## 取引例

-一箱のピーマンを地元の小売業者に  
-11トンの豆を都市部の卸売り業者に  
(市場から車で4時間ほどの距離かつ  
悪路。このような取引は過去なかった)



# HONDA様 アンバサダープログラム

- 2021年10月に農家2グループに対して噴霧器、耕うん機、ポンプを供与。
- 2022年1月本格的な雨期の開始と共に供与機材の使用開始。
- アンバサダーとその周辺農家より購買依頼。発電機二台、ポンプ、噴霧器1台が成約。



HONDA様によるデモ



アンバサダーによる農機具の使用

